

みなさん、おはようございます。学校再開にあたって今日も放送で話をします。

1学期が始まって間もなくの4月21日から臨時休業が続いていましたが、3日間の分散登校期間を経て、本日からようやく本格的な学校再開となりました。皆さんが元気に登校してくる姿が見れて、とても嬉しいです。

「緊急事態宣言」が出て、臨時休業に入るときに、皆さんに、何としても、感染爆発（オーバーシュート）と医療崩壊が起きる最悪の事態だけは避けなければならないという話をしましたが、特に、ゴールデンウィーク中の日本中における行動自粛と感染拡大防止対策が功を奏し、なんとか最悪の事態は回避され、「緊急事態宣言」も解除されました。これだけ感染拡大が抑えられているのは、世界でも稀なことで、本当に日本人ですごいですね。生徒も皆さんも、臨時休業期間中、自覚ある行動、日常生活を送ってくれたことと思います。そして、本日から、43日ぶりに本格的に学校が再開しました。

しかし、皆さんもよくわかっているように、いったん下火になったとはいえ、新型コロナウイルスの心配がなくなったわけではありません。世界的には、まだまだ感染拡大が続いています。特効薬もいきわたっておらず、ワクチンも開発されていません。第二波、第三波が襲来するのではという予測もあり、国内で、もう第二波が始まっているところもあります。

およそ100年前に世界中で5億人もの人が感染したといわれている「スペイン風邪」（インフルエンザ）は、日本でも3年間にわたって大流行し、国内でおおよそ2400万人もの人が感染し、亡くなった人は、第一波で25万人以上、第二波で12万人以上、第三波で約3700人と言われており、合計38万人以上の方が亡くなったと記録されています。感染した人の致死率は、むしろ第二波のほうがずっと高かったそうです。今回の新型コロナウイルスについても、対策をとらないと、下火になっても気を緩めてしまうと、たちまち100年前と同じようなことになるかと心配されているわけです。

このような状況において「緊急事態宣言」が解除され、学校も再開されることになりました。社会全体が、長期間にわたりこの新たなウイルスとともに生きていかなければならないという認識に立ち、経済活動や教育活動を、これ以上停滞させるわけにはいかないと、政府、文部科学省や県、そして県教育委員会が判断したためです。

かつて人類が、ペストやスペイン風邪といった感染症と向き合った時にも、克服するには何年、何十年という月日がかかっています。現代の医学をもってしても、新型コロナウイルスを封じ込めるには数年はかかると言われています。そこで、この感染症と向き合いながら日常生活を送っていくために、「新しい生活様式」「新しい日常」が必要だと言われています。「新しい」といっても特別なことではなく、これまで言われてきた予防や拡大防止のための、例えば、検温やマスク着用、消毒、手洗い、「3密」を避ける、ソーシャルディスタンスを取るといったことを、確実に日常的に実施していく生活を、ずっと続けていくということだと思います。

本校でも、日常生活と部活動における新型コロナウイルス感染症対策をまとめ、生徒そして保護者の皆さんにプリントとして配付しました。細かい内容ですが、それらを確実にずっと続けていくことが、学校における「新しい生活様式」「新しい日常」を実践していくこととなります。感染が発生し、ひどくなってからでは遅いのです。感染が広がる前に対策して抑えることがとても大切です。

今日から全生徒が登校することになりましたが、学校における一番の問題点は、広いとはいえ教室に多くの皆さんが集まり、「密」な状態を避けることが難しいことだと思います。このような状況においては、生徒の皆さん一人一人の、感染症拡大防止についての自覚と実践が大変重要になります。

今後も、私たちも、いつ新型コロナウイルスに感染してもおかしくはありません。自分の手にはウイルスが付着しているかもと思って、口や目に持ってくる前に十分手を洗ってください。自分の、そして周りの人の口からの飛沫にはウイルスが入っているかもと思ってマスクを着用（ただし熱中症注意）し、できるだけソーシャルディスタンスをとってください。

今日もまた同じ話を繰り返します。臨時休業中、皆さんはしっかり自覚ある行動をとってくれたと思いますが、全国の報道をみると、感染による差別や人々の分断の問題が大きく取り上げられていました。世界的にも問題になっています。また、新型コロナウイルス感染症とは直接関連がないかもしれませんが、ある女子プロレスラーが、出演したテレビ番組の内容についてひどい誹謗中傷をSNSで受け、自ら命を絶ったのではないかととても残念な報道がありました。

今日から本格的に学校が再開しますが、このような時こそ一層、「命の大切さ」と「人の心の痛み」を理解し、「差別」、「分断」、「いじめ」、そして「スマホ・SNSトラブル」がないようにしてください。「和」の精神（令和の和）で励ましあい、助け合い、お互いを補い合いあって仲良くやってください。

不安が消えない中、学校が再開し、気が重いなあ、つらいなあ、などということもあるかと思います。抱え込みすぎないで友人、大人（親・先生・SC）と相談してください。担任の先生との面接週間も始まります。また、気が付いたらそういう友達を支えてあげてください。

本当に長い臨時休業でしたが、普段の当たり前の日常、学校生活が送れることの有難さを感じたことと思います。これからも周囲に感謝の気持ちを持ち、学校生活の一日一日を大切に送ってください。以上で私の話とします。